

中国語話者のための日本語教育研究会

研究会趣旨：

中国語圏からの留学生は留学生総数の7割以上を占め、今後さらに増加すると思われ、そのための効果的な日本語教育が求められています。しかし、それに対応する研究の成果は、まだ多くないのが現状です。本研究会は習得研究の流れに身を置きながらも、常に現場の声に耳を傾け、日中対照研究の成果を生かして学習者の母語によるプラスの転移とマイナスの転移を体系的にとらえ、中国語話者に対する理想的な日本語教育について考えます。

<https://chuugokugowashablog.wordpress.com/>

第47回研究会

2020年3月14日（土） 13:00~18:00

【会場】

名古屋大学（東山キャンパス）全学教育棟4F 406号室

【アクセス】

名古屋駅で地下鉄に乗り、本山で乗り換えて名古屋大学駅で下車。（2頁目参照）

<申し込み不要・参加費無料>

プログラム

12:30 受付開始

13:00~13:30 李 夢迪（名古屋大学大学院生）

「複合語「～化」の日中対照研究」

13:30~14:00 鄭 榮愛（西南科技大学）・玉岡 賀津雄（名古屋大学）

「中国人日本語学習者による「けど」の理解に対する文法および語彙知識の影響」

14:00~14:30 王 雲姣（名古屋大学大学院生）

「感情形容詞の副詞的用法に関する日中対照研究」

14:45~15:15 周 利（名古屋大学大学院生）・玉岡 賀津雄（名古屋大学）

「日中対訳コーパスにおける対訳関係の共起頻度指標の吟味と分析法の提案」

15:15~15:45 呂 雲峰（首都大学東京大学院生）

「中国人日本語学習者における日中同形二字漢語のアクセント産出」

15:45~16:15 木下 直子（早稲田大学）・SHEPPARD Chris（早稲田大学）

「中国人初級日本語学習者の語リズムの習得」

16:30~17:00 劉 倩卿（一橋大学大学院生）

「中国語母語話者による漢語サ変動詞の習得に関する研究」

17:00~17:30 冀 媛媛（名古屋大学大学院生）・玉岡 賀津雄（名古屋大学）

「中国人および韓国人日本語学習者の「誰にも」の韻律による否定・肯定極性の知覚」

17:30~17:30 吳 梅（東京外国語大学大学院生）・黄 叢叢（明治大学大学院生）

小森和子（明治大学）

「中国語を母語とする日本語学習者の和製英語の意味推測に関する研究」

18:00~ 懇親会

中国語話者のための日本語教育研究会 事務局：李湘琴 <nittyuugenbun@yahoo.co.jp>

第47回研究会 担当委員：杉村 泰 sugimura.yasushi@e.mbox.nagoya-u.ac.jp

会場までの地図

1. 名古屋駅で地下鉄に乗り、本山で乗り換えて名古屋大学駅で下車。
2. 地下鉄の1番出口を出て、矢印の方向に進む。
3. 3つ目の矢印の所で階段またはエレベーターで4階に行く。

会場：全学教育棟 4F 406号室

